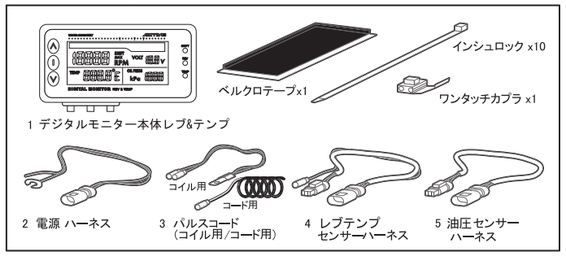
DIGITAL MONITOR REV&TEMP V3

品名 デジタルモニター レブ&テンプV3(油圧・温度センサー別売)
品番 1080072　JAN 4538792567266

デジタル表示のエンジンモニターです。回転数、温度、油圧、バッテリー電圧の計測表示などエンジンモニターとしての基本機能のほか、オーバーレブ警告、温度警告、シフトポイントインジケーター、などの機能も搭載しています。又、バージョン3となった本モデルでは、視認性に優れたネガ液晶の採用や、ボタン操作の見直しなどを行いエンジンコンディションモニターとしての使いやすさを更に向上させています。



Size	W 89 x H 44.3(47) x T 19.4 mm
作動電圧	8 ～18 VDC
消費電力	平均 50 mA(最大135mA)

機能説明

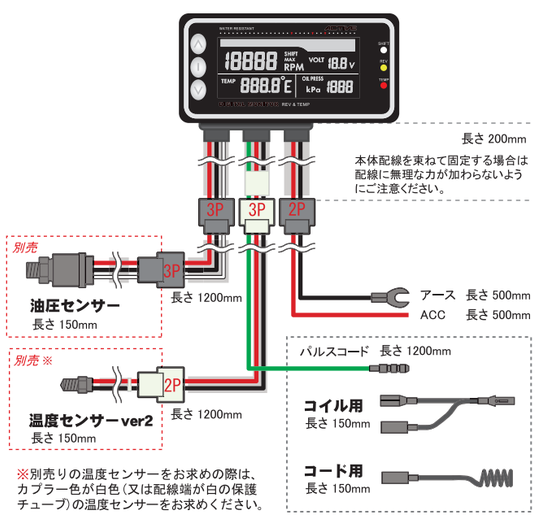
機　能	内　容
タコメーター機能	エンジン回転数の計測・表示　0～19500rpm
温度計測	油温または水温の計測・表示　-10℃～150℃【14～300°F】
油圧計測	油圧の計測・表示　0～1000kpa
電圧計測	電圧の計測・表示　9.0V～16.0V
ワーニング機能	任意設定した回転数／温度以上ではLEDが点灯し警告
ピークホールド機能	使用最高回転数の記録・表示
バーシグナル表示	回転数・温度・油圧の一つを任意でアナログ表示
シフトポイント	任意の設定回転数でLEDが点灯

● ご使用前に必ず取扱説明書をお読みください　● 装着作業前に必ず商品内容をご確認ください

デジタルモニターの装着

デジタルモニターを取付ける際は、下図を参考に配線を行ってください。

①本製品の配線を車体へ接続します。主な接続配線は下記の２点です。
　ⅰ). パルスコードの結線（本書参照）
　ⅱ). 電源用ハーネスの結線（サービスマニュアルをご確認ください。）
②本製品のタコメーター機能を作動させる為の初期設定を行います。(本書参照)
③装着車両のタコメーター表示値と本製品タコメーターの表示値が同じになるよう、回転数検値補正(本書参照)を行ないます。
④回転数検値設定が終了した後にその他のセンサーを接続します。各センサーや配線の接続作業をする際は、必ず本製品の電源カプラーを抜き、モニター本体に電源が入っていない状態で、接続作業を行ってください。



※別売りの温度センサーをお求めの際は、カプラー色が白色（又は配線端が白の保護チューブ）の温度センサーをお求めください。

デジタルモニター 取り扱い説明書

リペアパーツ

番号	部品名	部品番号	数量
1	デジタルモニター本体 レブ＆テンプ v3	1080072-1	1
2	電源 ハーネス	1080007-3	1
3	パルスコード(コイル用,プラグコード用)	1080007-4	1
4	**レブ&テンプ**センサー ハーネス	1080007-5	1
5	**油圧**センサー ハーネス	1080007-6	1
6	簡易フィッティングキットR ベルクロテープx1/ワンタッチカプラx7/インシュロックx1	1080072-2	1

オプションパーツ

温度センサー（ホワイトカプラー）　1
レブ＆テンプメーターの温度測定機能を使用する場合に必要なセンサーです。

タイプ	ピッチ	品番
TPA	M16 x P1.5	1080039
TPB	M14 x P1.5	1080040
TPC	M14 x P1.25	1080041
TPD	M12 x P1.5	1080036
TPE	PT3/8-19	1080042
TPH	M18 x P1.5	1080043
TPIS	PT1/8-28	1080051
TPJ	M12 x P1.25	1080037
TPL	M10 x P1.5	1080038

油圧センサー　2
レブ＆テンプメーターの油圧測定機能を使用する場合に必要なセンサーです。
品番1080013

油圧センサーアダプター　3
油圧センサーを車体へ取り付けるためのアダプターです。
※温度センサーには使用できません。

レブ&テンプセンサー ロングハーネス　4
キットに付属のハーネスの長さが足りない場合にご使用ください。配線長2M
品番1080045

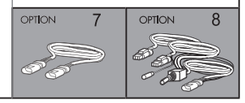
デジタルモニターステー　5
取り付け部形状の種類が多いプレートタイプのステー。アルミ製

位置	角度	品番
センター	ストレート	1080008
センター	25度	1080009
サイド	ストレート	1080010
サイド	25度A	1080011
サイド	25度B	1080012

ハンドルメータークランプ TYPE-2/ブラック　6
プレートタイプと組み合わせて使用するハンドルクランプ。アルミ製Φ22.2
品番 1080003

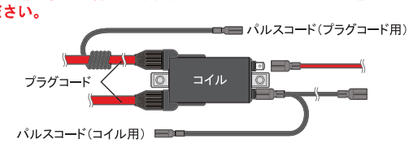
油圧センサーロングハーネス　7
キットに付属のハーネスの長さが足りない場合にご使用ください。配線長2M
品番 1080073

温度センサースイッチング ハーネス　8
2箇所に温度センサーを取り付け、手元のスイッチにより、計測表示させる温度センサーを選択できるようになります。
品番 1080074



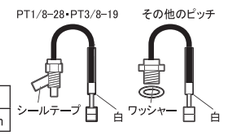
1. パルスコードの取り付け

コイル用またはプラグコード用を選択してパルスコードを接続してください。
プラグコード用をご使用の際は必ず耐熱テープにてパルスコードをプラグコードへ固定してください。



2. 温度センサーver2の取り付け　別売の温度センサーver2が必要です

●水温または油温いずれかで計測表示させるかを選び、該当する場所に適合したネジ径・ネジピッチの温度センサーを下記適正トルクにて締め込み、装着してください。



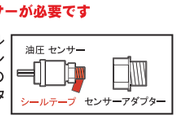
PT1/8-28・PT3/8-19	締付トルク　6Nm/0.6kgf・m
その他	締付トルク 18～20Nm/1.8～2.0kgf・m

●温度センサーをご購入の際は上記品番の温度センサーver2をご購入ください。
白いカプラー(又は配線の端が白色)のセンサーです。

注意事項
純正温度センサーからの入力でラジエーター等のファンセンサーの作動指示を取っている車両※の場合、純正温度センサーを取り外し、本キットの温度センサーを装着すると冷却ファンが作動しなくなり、エンジントラブルやエンジンの故障につながります。
このような場合には純正温度センサーと本キットの温度センサーとの交換装着を絶対に行わないでください。
※車両メーカー発行のサービスマニュアルにてご確認ください

3. 油圧センサーの取り付け　別売の油圧センサーが必要です

油圧を計測表示する場合は装着車輌のサービスマニュアルを参照して、油圧計測が可能な場所に、センサーネジ部にシールテープを巻き付けて装着してください。装着には別売の油圧センサーが必要なほか、必要に応じてセンサーアダプターをご用意ください。(センサー部ピッチ：PT1/8-28)



注意事項
サービスマニュアル指定以外の場所にセンサーを取り付けた場合、正しい油圧が測定できない恐れがあります。

デジタルモニターの初期設定

1. 設定モード　製品を正確にお使いいただくために必ず行ってください

❶を長く押すことで設定モードに、その後 ❶ を短く押すと以下の順で切り替わります。

1-1．サイクルタイプ

① ボタン ❶ を短押しし、サイクルタイプ設定画面へ切替えてください。設定画面では、右図の表示になり現在選択されているサイクルタイプが点滅します。
② ボタン ❹/❺ を押し、2サイクル⇔4サイクルを使用する車両のサイクルタイプに合わせ切替えます。
③ ボタン ❶ を短押し、又は長押しすることで別画面への切替えが行われ、同時に設定が保存されます。

1-2．イグニッションコイル数（気筒数）

① ボタン ❶ を短押しし、コイル数設定画面へ切替えてください。設定画面では、右図の表示になり4桁のうち 上2桁が点滅します。
② ボタン ❹/❺ を押し、1～12の範囲で気筒数を使用する車両のコイル数(気筒数)に合わせ切替えます。
③ ボタン ❶ を短押し、又は長押しすることで別画面への切替えが行われ、同時に設定が保存されます。

※実際の点火方式やコイル数の違いから、車両のコイル数や気筒数とおりの設定値にならない場合があります。

1-3．回転数検地補正

初期設定終了後、『アイドリング』又は『最大回転数の50%』のいずれかのエンジン回転状態において、純正タコメーターの指し示す表示回転数と、製品の回転数表示にずれがないかを確認します。ずれがある場合には、ずれの傾向をご確認いただき、以下の方法にそって、回転数検地補正を行ってください。

a．回転数が全体的に高すぎる、又は低すぎる値を表示する場合

全体的に表示回転数は安定していて、全域において実際のエンジン回転数より、表示が高すぎる、又は低すぎる場合は、コイル数設定値の微調整を行う形で補正をします。

① ボタン ❶ を短押しし、回転数補正画面へ切替えてください。(設定画面では、右図表示になり4桁のうち下2桁が点滅します。)
② ボタン ❹/❺ を押し、0～99の範囲で値を動かし、補正をかけます。
③ ボタン ❶ を短押しし、又は長押しすることで別画面への切替えが行われ、同時に設定が保存されます。

ボタン ❹/❺ を長押しすると送り速度が加速します。

補正の目安

◇ 純正タコメーターと表示回転数が同じ場合。
　▶▶ **数値 00**

◇ 純正タコメーターの回転数より表示回転数が高い場合。
　▶▶ **数値を 00→05→10と5間隔で大きい数値へ補正し、表示回転数の補正具合を確認してください。おおよその補正ができたら、次に1間隔づつの微調整を行い、表示回転数を合わせていきます。**

◇ 純正タコメーターの回転数より表示回転数が低い場合。
　▶▶ **数値を 00→95→90と5間隔で小さい数値へ補正し、表示回転数の補正具合を確認してください。おおよその補正ができてから値から、次に1間隔づつの微調整を行い、表示回転数を合わせていきます。**

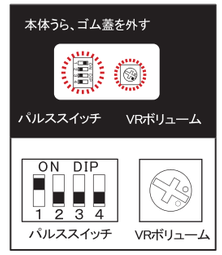
b．回転数が突然に、高い値や低い値を表示したりするなどしてバラつく場合。

表示回転数が100rpmから7000rpmに飛んだりするなど、まとまりの無い表示をする場合は、点火パルスの波形が本体の設定にあっていない、又は検知感度が過敏すぎるという状況が予測されます。この場合は、本体裏側にあるスイッチを切替え、本体を装着車両の点火波形にマッチングさせる必要があります。

■ パルススイッチの選択

※4つの波形設定から、車体の点火波形にもっとも合う設定を選定するスイッチです。

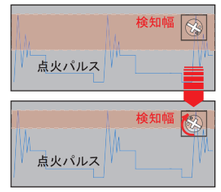
① 本体うらのゴム蓋を外します。
② パルススイッチを1から順番に選択し、ばらつきの収まりが最も良い、スイッチを選択します。



■ VRボリュームの調整

※センサーの検知感度の調整を行うボリュームです。

① 感度は通常、最大感度の位置（反時計まわり最大）になっております。
② 時計まわりにボリュームをまわし、感度を徐々に落としながら、表示回転数が安定する位置を見つけてください。



上記パルススイッチとVRボリュームの調整に関して、フローチャートを本取扱説明書の最後に掲載しております。補正手順の目安としてご活用下さい。

1-4．温度表示単位の選択

① ボタン ❶ を短押しし、温度表示単位選択画面へ切替えてください。設定画面では右図の表示になり、℃又はFの設定されている単位が点滅を開始します。
② ボタン ❹/❺ を押し表示単位を摂氏／華氏から選択します。
③ ボタン ❶ を短押し、又は長押しすることで別画面への切替えが行われ、同時に設定が保存されます。

1-5．テンプワーニングの設定

① ボタン ❶ を短押しし、温度警告設定画面へ切り替えてください。設定画面では右図のように温度表示部分が点滅を開始し、TEMPワーニングLEDが点灯します。
② ボタン ❹/❺ を押し、警告をさせたい任意の温度を表示させてください。
③ ボタン ❶ を短押し、又は長押しすることで別画面への切替えが行われ、同時に設定が保存されます。

ボタン ❹/❺ を長押しすると送り速度が加速します。

1-6．レブワーニングの設定

① ボタン ❶ を短押しし、温度表示単位選択画面へ切替えてください。設定画面では右図のように回転数表示部分が点滅を開始し、REVワーニングLEDが点灯します。
② ボタン ❹/❺ を押し、警告をさせたい任意の回転数を表示させてください。
③ ボタン ❶ を短押しし、又は長押しすることで別画面への切替えが行われ、同時に設定が保存されます。

ボタン ❹/❺ を長押しすると送り速度が加速します。

1-7．シフトポイントの設定

① ボタン ❶ を短押しし、温度表示単位選択画面へ切替えてください。設定画面では右図のように回転数表示部分が点滅を開始し、SHIFTランプLEDが点灯します。
② ボタン ❹/❺ を押し、警告をさせたい任意の回転数を表示させてください。
③ ボタン ❶ を短押し、又は長押しすることで別画面への切替えが行われ、同時に設定が保存されます。

ボタン ❹/❺ を長押しすると送り速度が加速します。

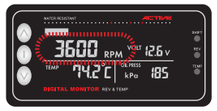
！！装着前にご確認下さい。！！　同封の保証書に【ご購入店】及び【ご購入日】の証明印を必ずいただいてください。捺印の無い保証書では製品保証をお受けいたしておりません。ご注意下さい。

デジタルモニターの操作

2. モニターモード

2-1. エンジン回転数の計測と表示　　設定方法は裏面をご覧ください

点火ノイズを検出し、エンジン回転数を計測します。
0–19500rpmを表示
（100rpm毎、計測表示間隔 0.2秒）
100rpm以下は表示されません　RPM

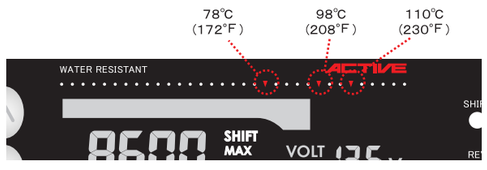


2-2. 水温または油温の計測と表示　　別売の温度センサーver2が必要です

センサーの取り付け位置に応じた温度を計測します。（計測表示間隔 1.0秒）
摂氏：−10.0度～150.0度を表示
華氏：14.0度～300.0度を表示　TEMP ℃ F

計測範囲を下回る場合には"LO"を、超える場合は"HI"を表示します

バーグラフは、温度を表示した際、0℃～130℃を表示可能です。又目盛り上のポイント(▼)は、適温を保っている事を瞬時に理解できる目安となります。



2-3. 油圧の計測と表示　　別売の油圧センサーが必要です

油圧を計測します。
0～1000kPaを表示（計測表示間隔 4秒）　OIL PRESS kPa

計測範囲を下回る場合には"LO"を、超える場合は"HI"を表示します

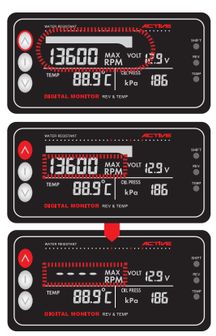
2-4. バッテリー電圧の計測と表示

電圧を計測します。
9.0V～16.0Vを表示（計測表示間隔 2秒）　VOLT

計測範囲を下回る場合には"LO"を、超える場合は"HI"を表示します

2-5. ピークホールド機能

最高回転数を自動的に記録する機能です。最高記録を上回った場合にも自動的に更新されます。任意に記録を消去することができます。　MAX RPM



■ピークホールドの表示

① ボタン ▲ を短押しすると、最高回転数が約5秒間、点滅表示されます。

■ピークホールドのリセット

① ピークの表示中にボタン ▲ を長押しすると、表示回転数・RPM・MAXの全てが点滅を開始し、3秒後にメモリーがリセットされます。

操作のない状態で5秒経過するか、又は ▲ を短押しするとモニターモード（通常画面）へ戻ります。

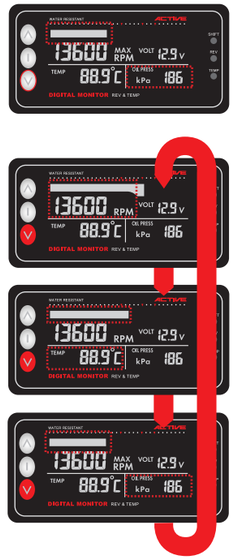
2-6. バーシグナル表示

■表示設定の確認

① ボタン ▼ を短押しすると、現在バーシグナル設定されている項目の数値及び単位が、バーシグナルとともに5秒間点滅します。

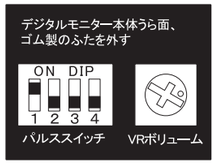
■表示設定の変更

① ボタン▼を押したままにします。ボタンが押されている間は下記の順番でバーシグナルに選択されている項目が自動的に変更されていきます。選択したい項目が点滅をしているタイミングで、押しつづけていたボタン ▼ を離すと、項目選択が完了します。

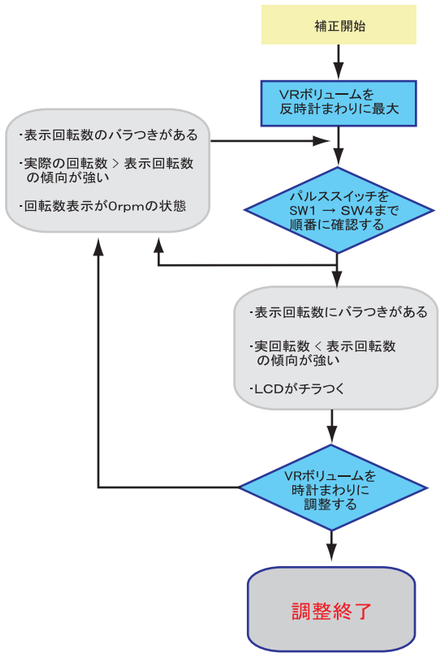


表示回転数の確認と補正

補正の目安



下記のチャートは回転数補正を行なう際に、『パルススイッチ』と『VRボリューム』を調整する手順をあらわしています。デジタルモニターの回転数表示画面に表れる症状をチャート上でご確認いただき、『パルススイッチ』→『VRボリューム』の順で、変化する回転数表示を確認しながら補正作業を行ないます。また、この補正は主に、表示回転数のバラつきを抑える事を目的としています。 全体的にバラつきが収まった状態で、表示回転数が実際の回転数に比べて全体的に高い、低いという場合は、『イグニッションコイル数』を細かく補正すること（1−3 a)で、補正を行なってください。



ケーススタディ

① アイドリングからレブまで全域にわたって正常に表示される。

▶▶ 設定作業を終了し、センサー類を取り付けます。

② 回転数が実際の数値の倍、または半分で表示される。

▶▶ イグニッションコイル数（気筒数）を変更してください。本書 [1-2] 参照
■倍で表示される場合 → コイル数を増やす　例：1 ⇒ 2
■半分で表示される場合 → コイル数を減らす　例：2 ⇒ 1

③ 回転数が全体的に低く、あるいは高く表示される。

▶▶ 回転数検知補正を行ってください。 本書 [1-3 a] 参照

④ アクセルを一定に保っているのに回転数が上下して表示される。

▶▶ VRボリューム の設定を行ってください。 本書 [1-3 b] 参照
■ 感度ダイヤルを右方向に徐々に回し、正常に表示されるよう調整してください。

⑤ 表示が変化せず、作動しない場合。

▶▶ パルススイッチの設定を行ってください。 本書 [1-3 b] 参照
■ 感度スイッチの "1" をオフにし、"2" をオンにして表示を確認してください。
■ 上記作業で変化が見られない場合は"3"、"4" とスイッチを変更し表示を確認してください。
■ いずれのスイッチでも変化が見られない場合はパルスコードの接続をコイル用からプラグコード用に変更してください。
※パルスコード（プラグコード用）は耐熱テープにてプラグコードに固定してください

⑥ アイドリング時には倍数を表示し、途中から正常に表示される。

▶▶ VRボリューム の設定を行ってください。 本書 [1-3 b] 参照
■ 感度ダイヤルを右方向に徐々に回し、正常に表示されるよう調整してください。

⑦ アイドリング時には正常に表示され、途中から"0"表示される。

▶▶ イグニッションコイル（気筒数）設定、およびVRボリュームの設定を行ってください。本書 [1-2] [1-3 b] 参照
■ コイル数を増やし、表示を確認してください。
■ 感度ダイヤルを右方向に徐々に回し、正常に表示されるよう調整してください。

⑧ ダイレクトイグニッションタイプの車両でタコメーターが作動しない

▶▶ パルスコードをイグニッションコイル、プラグコード以外の場所へ結線します。
■ クランクシャフトセンサー ・ カムポジションセンサー ・ ピックアップコイルなどの信号線にデジタルモニター本体のパルスコードを結線してください。上記の各信号線は車両毎に結線が可能な位置が変わりますので、サービスマニュアルを参照ください。

ACTIVE
Rev and Ride It !

その他

●. ACC電源（アクセサリー電源）について

イグニッションキーをオンにした際に１２Ｖの電圧がかかる配線をさします。メインキー周辺の配線から見つけ出すことが可能です。下記に目安として、各メーカーの配線色情報を掲載いたします。あくまで目安としてご活用下さい。

メーカー	ACC配線色	
HONDA	赤/黒	
YAMAHA	茶 又は 茶/青	
SUZUKI	橙色	
KAWASAKI	茶	

v3.1/09J04

株式会社 アクティブ
〒470-0117 愛知県日進市藤塚七丁目55番地
TEL (0561)72-7011　URL www.acv.co.jp

MADE IN TAIWAN